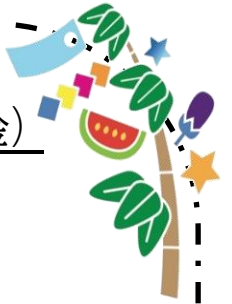


# 献立ひとくちメモ

7月7日(金)



七夕のお話です。

7月7日は五節句の一つ、七夕の節句（別名 笹の節句）です。節句とは邪気を払い、無病息災などを願う行事で年に5回あります。七夕は、中国の「織姫と彦星」伝説と、日本の「棚機女（たなばたつめ）」伝説がもとになっています。そのため、現在では、夜空に浮かぶ天の川や、機織りの糸に見立てて「そうめん」を食べる風習があります。

「織姫と彦星」伝説をご紹介します。はた織りの上手な神様の娘「織姫」と働き者の牛飼いである「彦星」は、神様の引き合わせで結婚し仲良く暮らしていました。しかし、楽しさのあまり仕事をせず遊んでばかりいたので激怒した神様は天の川の両端に2人を引き離したのです。2人は落ち込んでしまったので、神様は7月7日を年に一度会える日として許したといわれています。